



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場取引所 東大

上場会社名 コニシ株式会社

コード番号 4956 URL <http://www.bond.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大丸 智夫

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役社長室室長

(氏名) 東郷 正人

TEL 06-6228-2877

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	73,740	△0.8	3,505	△7.2	3,450	△6.2	1,578	△21.9
23年3月期第3四半期	74,336	8.1	3,775	33.8	3,679	34.5	2,020	34.2

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,207百万円 (△40.1%) 23年3月期第3四半期 2,017百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	80.12	—
23年3月期第3四半期	102.53	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	70,581	37,274	50.3
23年3月期	67,032	36,603	52.1

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 35,531百万円 23年3月期 34,918百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	14.00	24.00
24年3月期	—	12.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

23年3月期の期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 創業140周年記念配当 4円00銭

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	102,800	2.1	5,260	5.0	5,200	6.4	2,590	△5.7	131.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	20,353,720 株	23年3月期	20,353,720 株
24年3月期3Q	653,036 株	23年3月期	652,972 株
24年3月期3Q	19,700,727 株	23年3月期3Q	19,704,616 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中であります。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第3四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 【添付資料】

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P.2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P.2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P.3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P.3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P.3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P.3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	P.4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P.6
(3) 継続企業の前提に関する注記	P.8
(4) セグメント情報等	P.8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P.8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然厳しい状況にある中で、サプライチェーンの急速な復旧に伴い景気は持ち直しに転じましたが、夏場以降の急速な円高の進行や欧州債務危機の顕在化、タイの洪水の影響などにより回復ペースが鈍化しました。

当社グループの関連業界では、住宅業界においては住宅エコポイントやフラット35S終了による駆け込み需要の反動により一時期停滞しましたが、マンションを中心に緩やかに持ち直しの動きがみられました。土木建築業界においては東日本にて復興需要による復旧、補修工事が徐々に進みましたが、依然土木工事は遅れがみられました。また、自動車業界においてはタイの洪水の影響を一時的に受けましたが、国内での代替生産や生産調整分の巻き戻し生産など回復に向かいました。電子・電機業界においてはスマートフォンなどの需要が拡大しましたが、地デジ化移行の特需の反動により液晶テレビの販売が低迷し、タイの洪水の影響も受け厳しい環境が続きました。

このような状況のもと、取引先との連携を密にして震災の影響に対処するとともに、コア事業での確固たる地位の確立に努め、復興・復旧需要を背景にボンド事業部門は堅調に推移しましたが、化成品事業部門の減収と工事請負事業の土木工事発注遅れが利益面に影響しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高737億40百万円（前期比0.8%減）、営業利益35億5百万円（前期比7.2%減）、経常利益34億50百万円（前期比6.2%減）、四半期純利益15億78百万円（前期比21.9%減）となりました。

セグメントごとの概況は、次のとおりであります。

#### ボンド事業部門

住宅関連においては、秋口以降の新設住宅着工戸数の停滞はあったものの復旧資材として補修関連の接着剤・シーリング材の需要は依然と活発で、床用ウレタン系接着剤および一般住宅用シーリング材、サンライズ・エム・エス・アイ(株)の主力である戸建て用シーリング材が順調に推移しました。工業用関連においては、サプライチェーンの急速な復旧に伴い需要を盛り返しつつありましたが、秋口から停滞感が広まり工場生産用接着剤は微増にとどまりました。自動車シール材や離型剤は、自動車業界のサプライチェーンの急速な復旧に伴い回復しつつありましたが、タイの洪水の影響を受け、低調に推移しました。土木建築業界においては、被災地の本格的復興は依然として遅れているものの建築改修・補修工事が徐々に進み、工食用接着剤は順調に推移しました。ビル建設用シーリング材は安定的な供給体制を背景に建築改修・補修工事が増加し、好調を維持しました。一般消費者関連においては、補修材の需要が高く、秋口より新製品である「ボンド ウルトラ多用途S・Uプレミアム」が貢献し、一般家庭用接着剤は堅調に推移しました。

以上の結果、売上高351億81百万円（前期比5.6%増）、営業利益31億17百万円（前期比1.5%減）となりました。

#### 化成品事業部門

化学工業向けにおいては、夏場以降の市況の停滞により低調に推移しました。塗料業界向けにおいては、建築汎用向けの低迷、タイの洪水による輸出関連への影響もあり低調に推移しました。電子・電機業界向けにおいては、取引先の被災による供給制約の影響が依然大きく、液晶関連材料の低迷、一般電子部品も調整に入り、低調に推移しました。丸安産業(株)の主力である薄膜材料は第2四半期以降の在庫・生産調整により低迷し、好調であった電材においても第3四半期中頃より生産調整に入り、前年水準を下回りました。自動車業界向けにおいては、サプライチェーンの復旧と在庫の復元が急速に進み、電子部品関連基材が好調に推移し、前年水準を上回りました。

以上の結果、売上高348億63百万円（前期比5.7%減）、営業利益3億32百万円（前期比11.5%減）となりました。

#### その他

工事請負事業（土木建築工事業）においては、改修補強・耐震補強工事等の受注が7月以降改善されたものの業界全体の発注遅れが第3四半期での完工に響き、前年水準を下回りました。化学品データベース事業においては、企業の投資マインド回復と海外も含めた化学物質管理の重要性からシステムの販売が順調に推移しました。塗料事業においては、輸出関連が鈍化しましたがプラスチック用・レジャー関連用途向けは堅調に推移しました。

以上の結果、売上高36億95百万円（前期比9.0%減）、営業利益64百万円（前期比73.9%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ35億49百万円増加し、705億81百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が13億24百万円、商品及び製品が14億9百万円、未成工事支出金が6億62百万円増加したこと等によるものです。また、負債は前期末に比べ28億78百万円増加し、333億7百万円となりました。その主な要因は、未払法人税等が10億50百万円、賞与引当金が4億36百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が39億28百万円増加したこと等によるものです。純資産は前期末に比べ6億71百万円増加し、372億74百万円となりました。その主な要因は、その他有価証券評価差額金が3億92百万円減少したものの、利益剰余金が10億66百万円増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績につきましては、平成23年10月31日に公表しました数値から変更はございません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,233	12,845
受取手形及び売掛金	31,411	32,736
商品及び製品	3,799	5,208
仕掛品	169	234
原材料及び貯蔵品	752	975
未成工事支出金	208	870
その他	1,086	986
貸倒引当金	123	109
流動資産合計	50,537	53,746
固定資産		
有形固定資産	10,843	11,067
無形固定資産	426	1,159
投資その他の資産		
投資有価証券	3,590	2,929
その他	1,726	1,758
貸倒引当金	92	79
投資その他の資産合計	5,223	4,607
固定資産合計	16,494	16,835
資産合計	67,032	70,581

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,663	25,592
短期借入金	355	377
未払法人税等	1,189	139
賞与引当金	863	427
役員賞与引当金	81	39
その他	1,982	2,754
流動負債合計	26,136	29,330
固定負債		
長期借入金	100	-
退職給付引当金	757	799
役員退職慰労引当金	597	552
その他	2,838	2,624
固定負債合計	4,293	3,976
負債合計	30,429	33,307
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,603	4,603
資本剰余金	4,182	4,182
利益剰余金	26,371	27,437
自己株式	621	621
株主資本合計	34,536	35,602
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	455	63
為替換算調整勘定	74	134
その他の包括利益累計額合計	381	70
少数株主持分	1,684	1,742
純資産合計	36,603	37,274
負債純資産合計	67,032	70,581

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	74,336	73,740
売上原価	61,560	61,048
売上総利益	12,775	12,692
販売費及び一般管理費	8,999	9,186
営業利益	3,775	3,505
営業外収益		
受取利息	6	8
受取配当金	62	78
貸倒引当金戻入額	-	27
その他	94	87
営業外収益合計	163	202
営業外費用		
支払利息	18	17
売上割引	112	119
為替差損	83	61
持分法による投資損失	-	3
その他	44	55
営業外費用合計	260	257
経常利益	3,679	3,450
特別利益		
固定資産売却益	1	3
投資有価証券売却益	2	-
貸倒引当金戻入額	68	-
負ののれん発生益	20	-
その他	1	-
特別利益合計	93	3
特別損失		
固定資産処分損	4	285
投資有価証券評価損	3	30
投資有価証券売却損	0	1
役員退職慰労金	5	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	13	-
その他	5	10
特別損失合計	33	330
税金等調整前四半期純利益	3,740	3,122
法人税、住民税及び事業税	1,191	1,034
法人税等調整額	386	382
法人税等合計	1,578	1,416
少数株主損益調整前四半期純利益	2,162	1,706
少数株主利益	141	128
四半期純利益	2,020	1,578



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,162	1,706
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	63	415
為替換算調整勘定	81	80
持分法適用会社に対する持分相当額	-	3
その他の包括利益合計	144	499
四半期包括利益	2,017	1,207
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,893	1,125
少数株主に係る四半期包括利益	123	81

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	ボンド事業部門	化成品事業部門	計				
売上高							
外部顧客に対する売上高	33,304	36,970	70,275	4,061	74,336	-	74,336
セグメント間の内部売上高 又は振替高	372	247	620	54	674	674	-
計	33,677	37,217	70,895	4,115	75,011	674	74,336
セグメント利益	3,165	375	3,541	247	3,788	12	3,775

(注1) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗料、工事請負、化学品データベースおよび不動産賃貸の事業を含んでおります。

(注2) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

(注3) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	ボンド事業部門	化成品事業部門	計				
売上高							
外部顧客に対する売上高	35,181	34,863	70,045	3,695	73,740	-	73,740
セグメント間の内部売上高 又は振替高	305	243	549	43	592	592	-
計	35,487	35,106	70,594	3,738	74,332	592	73,740
セグメント利益	3,117	332	3,449	64	3,514	8	3,505

(注1) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗料、工事請負、化学品データベースおよび不動産賃貸の事業を含んでおります。

(注2) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

(注3) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。